

第17回 10月24日（木）13:00～14:30

バルカンから響け！歓喜の歌



柳澤寿男氏

指揮者

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

2005-2007年、マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィル首席指揮者に就任。2019年、コソボ大統領勲章叙勲。2024年、日本国外務大臣表彰受賞。2007年、旧ユーゴの民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団を設立。2009年、国連開発計画、国際安全保障部隊などの協力を得て、コソボ紛争後初となるセルビア人音楽家とアルバニア人音楽家の混合メンバーによる公演を実現。ジュネーヴ国連欧州本部会議場をはじめ、ウィーン、ローマ、ニューヨークなどでの公演を実現。BSジャパン（テレビ東京系）「戦場に音楽の架け橋を」、NHK総合テレビ「Switchインタビュー 達人達」などで活動の様子が放送されている。

<担当スタッフより>

皆さんは、「ユーゴスラヴィア紛争」のことをご存じでしょうか？様々な民族が暮らすバルカン半島で発生したこの紛争は、現在まで続く民族同士の対立を激化させ、また、多くの人々の心に傷を残しました。そのような地で、バルカン室内管弦楽団を設立し、世界各地で演奏活動が続けている方が、指揮者の柳澤寿男さんです。柳澤さんが旧ユーゴスラヴィアの民族共栄を願って作られたこの楽団には、かつて対立関係にあった民族の楽団員たちが多く在籍し、一緒に音楽を奏でています。音楽の力により、平和、復興、人々の幸せの実現を目指す柳澤さんのご講演を通して、音楽と共に歩んできた人生の中で得られた「学び」と、バルカン室内管弦楽団の設立によって柳澤さんが周りの人々にもたらした「学び」（例えば、異なる文化や価値観を持つ他者との共生）から、皆さん自身が戦争や平和、他者との共生について考える機会になってほしいと願っております。